

人権学習 ～10月授業参観～

1年

「ふわふわことばとちくちくことば」

人に言われてうれしい言葉「ふわふわ言葉」と人に言われて悲しい言葉「ちくちく言葉」についてみんなで考えました。

「ふわふわ言葉」をさらにふやせるようにすること、またその言葉を人にしっかり伝えることで、

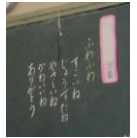


相手もうれしくなれるんだよということを確認しました。

2年

「明るく元気になる言葉をあつめてみよう」

・学校生活では、ちょっとした言葉がきっかけで、けんかになってしまうことがあります。その際どのような言葉かけをすれば仲良くなることができるのか？言葉にはいろいろな使い方・伝え方があることを子どもたちに知ってもらい、明るく
元気になる言葉を考えさせました。



「ありがとう」「だいじょうぶ」
「じょうずだね」「すごいね」

3年

「よわむしたろう」

学校生活の中で、誰かがいやな思いをしたとき、自分の主張を押し通そうとする子や、心の中では、友達を気遣う優しさや思いやりは持っているもののなかなか言動に出せない子もいます。



学習を通して、正しいことをきっちりと判断し、勇気を出して行動することの大切さに気づくことができました。

4年

「ともだち」

谷川俊太郎さんの絵本「ともだち」を読んで、共感したところや心に残ったところについて話し合いました。



この授業を通して、「本当の友達ってどんな友達かな？」「どんな友達になりたいかな？」と考えることができました

なかよし・ひまわり学級

「わらびもちをつくろう」

＜協力できたね！＞

普段は2つの学級で、別々に学習している子どもたちが、仲良く協力しながら「わらびもち」を作ることができました。お鍋の中で粘るわらび餅を力強くかき混ぜ、スプーンですくい、水の入っているボールの中に落とします。保護者にも手伝ってもらい、おいしいわらびもちが完成しました。



5年

「男らしさ？女らしさ？ ～自分らしさを大切にしよう～」



25種類の職業名を挙げ、男女どちらを連想するか考えました。その後、黒板に表示した男性・女性を入れ替え、それぞれの職業についている人がいるかどうか再び考えてみました。「男だから」「女だから」という固定的な考え方にとらわれず、自分の生き方を考えていくことの大切さに気づきました。

6年

「あってもいいちがいで」と 「あってはいけないちがいで」



世の中には、いろいろな違いがあります。10項目の中から、子どもたちは、性別や性格、仕事、好み等の「あってもいいちがいで」と、男女差別や人種差別等の「あってはいけないちがいで」について考えることができました。